

画と文にみる江戸時代の越中富山



令和4年

2月19日 [土] ▶ 4月17日 [日]

会期中の休館日 3月9日(水)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 一般210円(170円)、高校生以下は無料

※()内は、20名以上の団体料金

富山市郷土博物館



TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM

〒930-0081 富山市本丸1-62 富山城址公園内

TEL:076-432-7911 FAX:076-432-8060

<https://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse/>



企画展

画と文にみる

江戸時代の越中富山

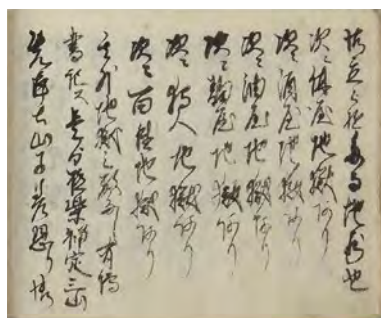


江戸時代の富山の町には、多くの旅人が訪れました。それらの人々は、公務出張の武士、商用の町人、身赴任の学者、見聞を広める旅に出た医者、立山参詣の信者、さらには各地を巡り歩く俳諧宗匠や絵師、取材旅行の作家など、旅の目的も身分も様々です。

この富山の地で、訪れた人に強い印象を与えたのが神通川船橋でした。大きく弧を描いたダイナミックな姿は、「日本一の船橋」と評され、様々な名所図会や浮世絵版画に描かれ、その姿は広く流布するようになりました。神通川船橋は、全国に知られた富山名所、霊山立山と並ぶ越中名所となったのです。

また、このような名所だけではなく、富山の人々の暮らしについても、旅行案内記や紀行文、さらには風土や風俗が詠み込まれた詩歌から垣間見ることができるとでしょう。

本展では、神通川船橋と立山という二大名所を軸に、越中を訪れた人が描き、記した画や文を通して、彼らが抱いた越中富山のイメージを紹介します。



白山社・立山社・富土社并石尊社・江戸道引



『二十四輩巡拝図会』より立山劔ヶ峯



越中神通川船橋図

会期 令和4年2月19日(土)～4月17日(日)
休館日 3月9日(水)
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

観覧料 大人210円(170円) 高校生以下は無料
※()内は20名以上の団体料金
※この料金で、常設展示もご覧いただけます。

【当館では新型コロナウイルス感染症対策を実施しています】

- ・入館の際には、手指の消毒やマスクの着用などのご協力をお願いします。
- ・充分な間隔を保ってご観覧いただくため、入場制限を行う場合があります。
- ・感染の拡大状況によっては、やむをえず会期を変更または休館することがあります。

常設展 富山城ものがたり

展示室では、400年以上の歴史を持つ富山城の歴史を、模型や映像も使いながら、分かりやすく紹介しています。また、4階の天守展望台からは、昔の富山城の大きさが分かります。

西町の「キラリ」や願海寺城跡から発見されたものも展示しています。

■アクセス

- JR富山駅から徒歩約10分
- 地铁バス「城址公園前」下車 徒歩2分
- 市内電車「国際会議場前」下車 徒歩3分
- 富山空港より連絡バスで20分
- 北陸自動車道 富山ICより車で約15分

■駐車場

当館には専用駐車場はありません。最寄りの有料駐車場をご利用ください。最も近いのは城址公園地下駐車場です。



富山市郷土博物館

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM
〒930-0081 富山市本丸1-62 富山城址公園内
TEL:076-432-7911 FAX:076-432-8060
<https://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse/>